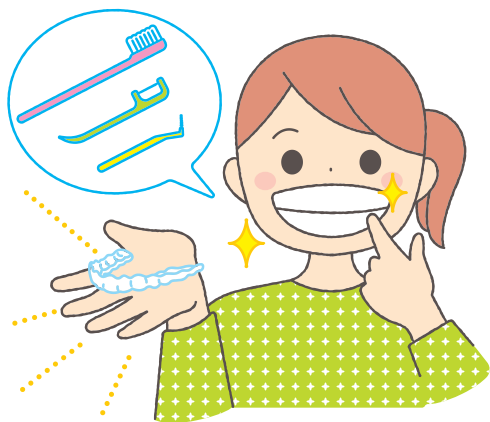


# 口の健康につながる歯の矯正 歯にやさしい矯正治療も



歯科医師 飛田 晴康先生

飛田歯科医院 院長  
1985年大阪歯科大学卒業。東京都港区、  
京都府南丹市、神戸市東灘区の歯科医院勤  
務を経て、2005年から現職  
◆住所 岡山市北区広瀬町 11-19  
◆☎086-222-3194



ところが歯並びが悪いと、口の中の衛生管理が難しくなり、虫歯や歯周病のリスクが高くなるので、清掃用具を上手に使う技術と多くの時間を使って、口の衛生管理を行う必要があります。

また、高齢になれば免疫力が低下し、唾液が少なくなることで虫歯や歯周病のリスクが高まるといわれています。この時、歯並びが悪いと一部の歯だけに無理な力が加わりやすく、その状態が長年続くと歯が異常にすり減る場合や、歯が欠けたり、割れたりすることもあるので、歯並びが悪いと、歯にやさしい矯正治療も必要です。

新しい矯正技術としてマウスピース型の矯正装置があります。この矯正方法は透明で目立ちにくく、痛みが少ないという利点に加え、治療中上下の歯が当たらないので歯に負担がかからない矯正治療として注目されています。

このように、歯並びが良いことが虫歯や歯周病のリスクを減らし、一部の歯に無理な力が加わり、悪くなるリスクを少なくできます。歯をできるだけ長く使うための矯正治療を考えてはいかがでしょうか。

**A** 虫歯や歯周病のリスクが高まり、歯並びが悪くなるため、歯並びが良く磨きやすいことが重要で、歯に負担の少ない矯正方法は、歯並びの改善に大きく貢献します。

「人生100年時代、歯を長持ちさせよう」と活動している飛田晴康先生（飛田歯科医院院長）が、トラブルを起こした歯の治療法などを詳しく説明してくれます。※このコラムは2カ月に1回掲載

教えて！ドクター

人生100年時代 歯を長持ちさせよう！ Vol.4

## とびた先生の歯科Q&A



**Q**

以前から歯並びの悪さが気になっていました。歯周病も進行しています。歯磨きをするときに磨きにくいので、歯周病にもなりやすいと言われました。ワイヤーを使った矯正は他人からの見た目が気になり、おっくうですが、何か方法がありますか。（岡山市、S）

「矯正治療で良い歯並びにすることは、見た目の改善になるのはもちろん、口の健康を長く保つための大切な要因です」